

平成28年10月31日

厚生労働省

相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム

座長 山本輝之様

社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
会長 日野博愛

障害者支援施設等における施設利用者の安全の確保等について

私たちは、500余の障害者支援施設を拠点として、「もっとも援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり」を基本理念とし、すべての国民一人ひとりが、障害の有無に分け隔てられることなく、お互いの人権を尊重し、支えあう共生社会の実現にむけ、重度の身体障害がある施設利用者への支援と地域の障害者福祉の増進にむけた取り組みを推進しております。

このたびの津久井やまゆり園の事件で生じた人間の命や生活を奪い取るような行為は、決して許されることではなく、障害のあるなしに関係なく、誰もが排除されることなく自己実現の機会が保障され、かつ安心して生活できる地域づくりが進められるべきであります。

こうした事件を二度と引き起こさないためにも、下記についてご留意いただき、社会福祉施設等の安全・安心につながる防犯対策の推進について、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

- 今回の事件を契機に、障害のある方への偏見が助長されたり、施設と地域との関係を閉ざすことにつながりかねない過度な施設管理体制整備と行政指導等が先行しないよう、地域と一体となった開かれた社会福祉施設づくりが不可欠です。折しも国は地域共生社会の実現をめざしており、そうした社会の実現に向けた関係施策にかかるご配慮をお願いいたします。
- 障害のある方への支援のための高い志とスキルをもつ職員がいつまでも働き続けることができるよう、人材確保・育成・定着にむけた職場環境の改善、および施設職員の処遇改善に向けた取り組みが推進されるようお力添えをお願いいたします。
また、抜本的な職員配置基準の見直しにより、施設利用者の安全・安心につながる夜間の職員配置体制の強化にむけた施策検討が推進されるようお願いいたします。

- 共生社会の実現にむけては、幼少期の教育、学校教育において、正しい人権感覚と知識を養う必要があり、障害者福祉施設を積極的に活用するなど地域における福祉教育の推進につきまして、ご検討いただきますようお願いいたします。

- 平成 28 年度補正予算において、障害福祉サービス等の防犯対策の強化に関して示されておりますが、まさに社会福祉施設における防犯対策は喫緊の課題であり、早期に予算執行されるよう対応をお願いいたします。
また、補正予算成立前に施設独自で実施した防犯対策についても、補助対象とするなど柔軟な対応が可能となるようお願いいたします。